

第53号

発行/社会福祉法人 素心会
責任者/事務局長 高瀬 尚人
〒259-0103

神奈川県中郡大磯町虫塗39番地1
TEL.0463-71-1255
レイアウト・印刷 貴峰荘ワークピア



8月2日(土)に、恒例の納涼祭が開かれました。利用者をはじめご来場の皆さん、やきとり、やきそば、かき氷、ビール・ジュース、ゲームほかの模擬店、バンド演奏と歌、チビッコ太鼓、盆踊り、花火など、実に盛り沢山で、思い思いの時間を楽しみ、とても良い時間が流れたと思います。後援会提供的花火は、花火師による本格的なもので、鮮やかな花火が利用者さんやご家族にとっても忘れられない夏の思い出になつたのではないかと思います。

実行委員を務めて感じたことは、納涼祭は年一度の唯一の素心会全体のイベントであり、職員にとっても非常に意味のある機会だということです。何ごともなく無事に終えることができ本当に感謝と安堵感でいっぱいでした。とはいっても課題もたくさん出てきたので、今年の教訓を少しでも来年に活かせたらと思います。

納涼祭実行委員 熊岡 功丞

納涼祭を
終えて



今年度 新人職員へのインタビュー

「半年を過ぎて、今後に向けて」

右も左も分からなかつたあの日から早くも半年が経ちました。一日一日があつという間に過ぎて行き、利用者の方々との毎日が充実したものであることを表しているように感じます。だんだんと利用者の方々から頼られることも増え、嬉しく感じると共に期待に応えなければと身を引き締めています。自分自身の至らなさに落ち込むこともありますが、そんな時に元気を与えてくれるのもまた利用者の方々の言葉や笑顔です。いただいた元気を少しでも返せるよう、笑顔を忘れずにこれからも精進していきます。



4月1日、たくさんの利用者の笑顔に迎えられ、私の素心学院での日々がスタートしました。先輩支援員に学院内を案内していただいたときに、利用者の方々と顔を会わせましたが、顔と名前を覚えるのに必死で建物の構造がほとんど頭に入らず、まるで迷路のように感じたのを覚えています。

右も左も分からなかつたあの日から早くも半年が経ちました。一日一日があつという間に過ぎて行き、利用者の方々との毎日が充実したものであることを表しているように感じます。だんだんと利用者の方々から頼られることも増え、嬉しく感じると共に期待に応えなければと身を引き締めています。自分自身の至らなさに落ち込むこともありますが、そんな時に元気を

与えてくれるのもまた利用者の方々の言葉や笑顔です。いただいた元気を少しでも返せるよう、笑顔を忘れずにこれからも精進していきます。



4月1日、たくさんの利用者の笑顔に迎えられ、私の素心学院での日々がスタートしました。先輩支援員に学院内を案内していただいたときに、利用者の方々と顔を会わせましたが、顔と名前を覚えるのに必死で建物の構造がほとんど頭に入らず、まるで迷路のように感じたのを覚えています。

右も左も分からなかつたあの日から早くも半年が経ちました。一日一日があつという間に過ぎて行き、利用者の方々との毎日が充実したものであることを表しているように感じます。だんだんと利用者の方々から頼られることも増え、嬉しく感じると共に期待に応えなければと身を引き締めています。自分自身の至らなさに落ち込むこともありますが、そんな時に元気を

与えてくれるのもまた利用者の方々の言葉や笑顔です。いただいた元気を少しでも返せるよう、笑顔を忘れずにこれからも精進していきます。

4月1日、たくさんの利用者の笑顔に迎えられ、私の素心学院での日々がスタートしました。先輩支援員に学院内を案内していただいたときに、利用者の方々と顔を会わせましたが、顔と名前を覚えるのに必死で建物の構造がほとんど頭に入らず、まるで迷路のように感じたのを覚えています。

右も左も分からなかつたあの日から早くも半年が経ちました。一日一日があつという間に過ぎて行き、利用者の方々との毎日が充実したものであることを表しているように感じます。だんだんと利用者の方々から頼られることも増え、嬉しく感じると共に期待に応えなければと身を引き締めています。自分自身の至らなさに落ち込むこともありますが、そんな時に元気を

与えてくれるのもまた利用者の方々の言葉や笑顔です。いただいた元気を少しでも返せるよう、笑顔を忘れずにこれからも精進していきます。



4月1日、たくさんの利用者の笑顔に迎えられ、私の素心学院での日々がスタートしました。先輩支援員に学院内を案内していただいたときに、利用者の方々と顔を会わせましたが、顔と名前を覚えるのに必死で建物の構造がほとんど頭に入らず、まるで迷路のように感じたのを覚えています。

右も左も分からなかつたあの日から早くも半年が経ちました。一日一日があつという間に過ぎて行き、利用者の方々との毎日が充実したものであることを表しているように感じます。だんだんと利用者の方々から頼られることも増え、嬉しく感じると共に期待に応えなければと身を引き締めています。自分自身の至らなさに落ち込むこともありますが、そんな時に元気を

与えてくれるのもまた利用者の方々の言葉や笑顔です。いただいた元気を少しでも返せるよう、笑顔を忘れずにこれからも精進していきます。

4月1日、たくさんの利用者の笑顔に迎えられ、私の素心学院での日々がスタートしました。先輩支援員に学院内を案内していただいたときに、利用者の方々と顔を会わせましたが、顔と名前を覚えるのに必死で建物の構造がほとんど頭に入らず、まるで迷路のように感じたのを覚えています。

右も左も分からなかつたあの日から早くも半年が経ちました。一日一日があつという間に過ぎて行き、利用者の方々との毎日が充実したものであることを表しているように感じます。だんだんと利用者の方々から頼られることも増え、嬉しく感じると共に期待に応えなければと身を引き締めています。自分自身の至らなさに落ち込むこともありますが、そんな時に元気を

与えてくれるのもまた利用者の方々の言葉や笑顔です。いただいた元気を少しでも返せるよう、笑顔を忘れずにこれからも精進していきます。



素心学院
支援二課
青山 春音



素心学院
支援二課
秋山 華奈



素心学院
支援二課
小沢佳那恵

入職して半年が過ぎました。一人ひとりの利用者さんとどのようにコミュニケーションをとつていけばいいのかわからない点が多く、毎日模索しながら関わせていただいています。利用者さんの伝えたいことがわからず、困らせたことも何度もあります。私の関わり方は利用者さんのためになつていいことだと思います。私が関わり方でよかつたのだろうか、この関わり方でよかつたのだろうかと疑問に思ひながら働かせていただいています。

ある日、今までうまくコミュニケーションをとれていなかつた利用者さんから「ありがとうございます」と肩を叩きながら言ってくださつたことがあります。なんて表現したらいいかわからなくらい慣れました。なんて表現したらいいかわからなくらい慣れますが、いつまでも初心を忘れずに丁寧な支援を中心がけ、利用者さんに安心感を抱かせることのできる支援員になれるよう頑張っていきたいと思いま

す。

4月1日、たくさんの利用者の笑顔に迎えられ、私の素心学院での日々がスタートしました。先輩支援員に学院内を案内していただいたときに、利用者の方々と顔を会わせましたが、顔と名前を覚えるのに必死で建物の構造がほとんど頭に入らず、まるで迷路のように感じたのを覚えています。

右も左も分からなかつたあの日から早くも半年が経ちました。一日一日があつという間に過ぎて行き、利用者の方々との毎日が充実したものであることを表しているように感じます。だんだんと利用者の方々から頼られることも増え、嬉しく感じると共に期待に応えなければと身を引き締めています。自分自身の至らなさに落ち込むこともありますが、そんな時に元気を

与えてくれるのもまた利用者の方々の言葉や笑顔です。いただいた元気を少しでも返せるよう、笑顔を忘れずにこれからも精進していきます。

4月1日、たくさんの利用者の笑顔に迎えられ、私の素心学院での日々がスタートしました。先輩支援員に学院内を案内していただいたときに、利用者の方々と顔を会わせましたが、顔と名前を覚えるのに必死で建物の構造がほとんど頭に入らず、まるで迷路のように感じたのを覚えています。

右も左も分からなかつたあの日から早くも半年が経ちました。一日一日があつという間に過ぎて行き、利用者の方々との毎日が充実したものであることを表しているように感じます。だんだんと利用者の方々から頼られることも増え、嬉しく感じると共に期待に応えなければと身を引き締めています。自分自身の至らなさに落ち込むこともありますが、そんな時に元気を

与えてくれるのもまた利用者の方々の言葉や笑顔です。いただいた元気を少しでも返せるよう、笑顔を忘れずにこれからも精進していきます。

そしん

祉＝楽しい生活とするべく、利用者の方々の立場になつて考え、快適な生活を提供できるよう支援員になりたいと思つています。



4月から新入職員として素心学院に加わり早くも半年が経ちました。この6ヶ月間は私にとって怒涛の日々でした。仕事を覚えることや、知的障害を持つ方々と一緒に生活をしていくこと全てが初めての体験で毎日が学びでした。そんな中、楽しくやりがいを持つて仕事を始めたのは個性豊かな利用者の方々と先輩支援員に恵まれていたからなのだと思います。

徐々に仕事に慣れてきた現在、より成長するためには初心に返ることが必要であると感じます。今まで覚えることに必死でしたが、なぜ個別支援計画を作成して実施しているのかをもう一度きちんと理解する時期に来ていると思います。利用者の方々との関係を築いていく上でも重要なことだと考えます。また、福

祉＝楽しい生活とするべく、利用者の方々の立場になつて考え、快適な生活を提供できるよう支援員になりたいと思つています。今度一歩ずつ成長できたような気がします。

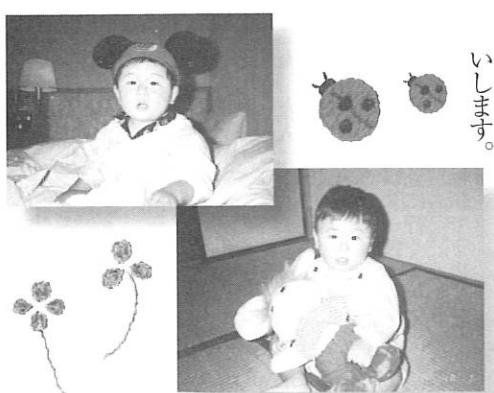
月日が経過するにつれて、できることも少しずつ増え、生活支援員という仕事に楽しさとやりがいを感じできるようになりました。これからも素心学院の一員として成長し、先輩方のような立派な支援員になりたいと思いつます。今後出会うで



あるう後輩に指導でかかるような支援員になるため、日々努力していくこうと思いま

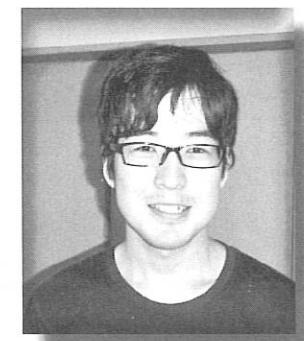
た。

小さい時から多動で家から脱走し国道に出てしまつたこともあります。今では窓が開いていても外を眺め自分で閉めるようになりました。異食もあり、さすがに今は入院騒ぎになる程の物は飲まなくなりましたが、少なくなることはいえ油断大敵！すきあらば石くらいの小さな物ならいいだろ



素心学院
支援二課

前島杏子



素心学院
支援一課

小林一登

家族ペーパリレー

素心デイセンター

横山 雄紀さん
横山八重子さん(母)



送らせてしまっています。そして休日は家でゆっくり過ごすというのではなく、中ではまだないようでも、とにかく家にはいたくない。車で出かけたいと朝から大騒ぎ、大泣きで、今は休日が本当に大変なときで、もう親の体力限界が来るまでドライバーをさせられそうですね。

すっかり落ち着いて。と言えにはまだ時間がかかりそうですが、デイセンターでいろいろな経験をして楽しい日々を送ってくれたらと思います。

皆様これからもよろしくお願ひします。



理事の評議員の動き

第一回評議員会 平成二十六年三月十五日(土)

- 一 平成二十六年度事業計画を承認。
- 二 平成二十六年度予算を承認。

- 三 素心学院施設長の承認。
- 四 就業規則及び非常勤職員就業規則の一部改正を承認。
- その他、内部雇用の状況について報告した。

第一回評議員会 平成二十六年三月十五日(土)

- 一 四号議案及び報告事項まで評議員会と同じ。

第一回評議員会 平成二十六年五月二十四日(土)

- 一 マイクロバスの購入及び車種の選定について承認。
- 二 平成二十六年度第一次補正予算を承認。

第一回評議員会 平成二十五年度事業報告

- 五 任期満了に伴う理事及び監事の選任。

その他、地震災害発生時の緊急収集等に関する基準について等報告した。

第一回評議員会 平成二十六年五月二十四日(土)

- 一 四号議案及び監事監査報告まで評議員会と同じ。

- 五 評議員会選任の理事及び監事に対する同意。

- 六 任期満了に伴う評議員の選任。佐藤昭二評議員の後任として小林倫評議員を選任。西山静子評議員の後任として野谷美恵子評議員を選任。

- 七 理事の互選により片平理事を理事長に選任。

- 八 理事長から萩原理事を常務理事に指名。

報告事項は評議員会と同じ。

マイクロバス



平成二十六年八月二十九日

神奈川県共同募金会より、
三〇〇万円の助成をいただき、

トヨタ・コースター（マイクロ
バス）を購入させていただきました。

十年間活躍した青色のマイク
ロバスが、白と青の二色の新車
に替わりました。九月三日に納

車され、早速日中活動・送迎
に活用させていただいているま
す。初めて乗車した利用者の皆

さんからも「いいね」と喜びの
声が聞かれました。

助成をいただき、ありがとうございました。

ございました。

素心会事業所アドレス

素心学院 神奈川県中郡大磯町虫窪 39-1	TEL. 0463 (71) 1255 FAX. 0463 (73) 0009
素心ティセンター 神奈川県中郡大磯町虫窪 18-1	TEL. 0463 (71) 1256 FAX. 0463 (71) 1284
地域支援センターそしん 神奈川県中郡大磯町虫窪 18-1	TEL. 0463 (70) 3577 FAX. 0463 (72) 2577
さざんかホーム 神奈川県中郡大磯町国府本郷 1308	TEL. 0463 (61) 1519 FAX. 0463 (61) 1519
かもめホーム 神奈川県中郡大磯町大磯 1370-23 コープKY2F	TEL. 0463 (61) 5404 FAX. 0463 (61) 5404
つばきホーム 神奈川県中郡大磯町国府新宿 482-1	TEL. 0463 (71) 0990 FAX. 0463 (71) 0990
シーベルホーム 神奈川県中郡大磯町大磯 2232	TEL. 0463 (61) 5281 FAX. 0463 (61) 5281

後援会会員募集

- 会費は個人一口、年 1,000円から
法人・団体一口、年 10,000円から
- 会員には、新聞「そしん」をお送りします。
- 行事のご案内などをします。



会費の納入先 ****

■銀行振込は
中南信用金庫国府支店 014-0139723
郵便振替はどこ郵便局でも 00270-0-19507 です。

■口座名は
社会福祉法人素心会後援会 会長 鈴野七郎
※新しく会員になっていただける方は、
ご住所を電話等でお知らせくださいようお願いします。

●事務局 〒259-0103 神奈川県中郡大磯町虫窪 39-1
素心会後援会 TEL.0463-71-1255
FAX.0463-73-0009



お祭りの規模としては小さく
なりましたが、子どもの頃の記
憶と重なる瞬間もあり、心がな
ごみしました。今度、支援セン
ターに通所する子どもたちにも、
そんな記憶に残るような活動や
場所に連れて行きたいと思つて
います。

地域支援センターそしん

山口 健太

むしくぼ ニュウコパンチ
虫窪24番地